

水平位診療

臨床 Q&A

宇部市開業・世界pdヘルスケアソサエティー
SATVコース チーフモデレーター

石田雅司 (いしだ まさし)

安全な歯科器械とは？

Q 最近は一時のように院内感染についてセンセーショナルではなくなったようですが、それだけにむしろ恐ろしいような気がしています。特に医療現場にいる歯科医師やスタッフは不特定の患者さんと器具を通じての接触やうっかりミスからの感染など、常に危険に晒されています。

歯科用ユニットについてもインスツルメントの取上げや置き戻しのとき、気をつけないとハンドピースに装着されたままのバーで自分の手を傷付けることもあると思います。

そこで、このような危険から身を守るためにも、できるだけ安全なユニットを使いたいと思います。どこに気をつけて選べばよいのでしょうか。

A グローブをはめて治療するようになったので安全と思いがちですが、ハイスピード切削用のバーは簡単にグローブのゴムを貫通しますから油断できません。

また、グローブを着用していると素手とは異なりやはりインスツルメントが取り扱いにくくなるので、この点も注意を要します。

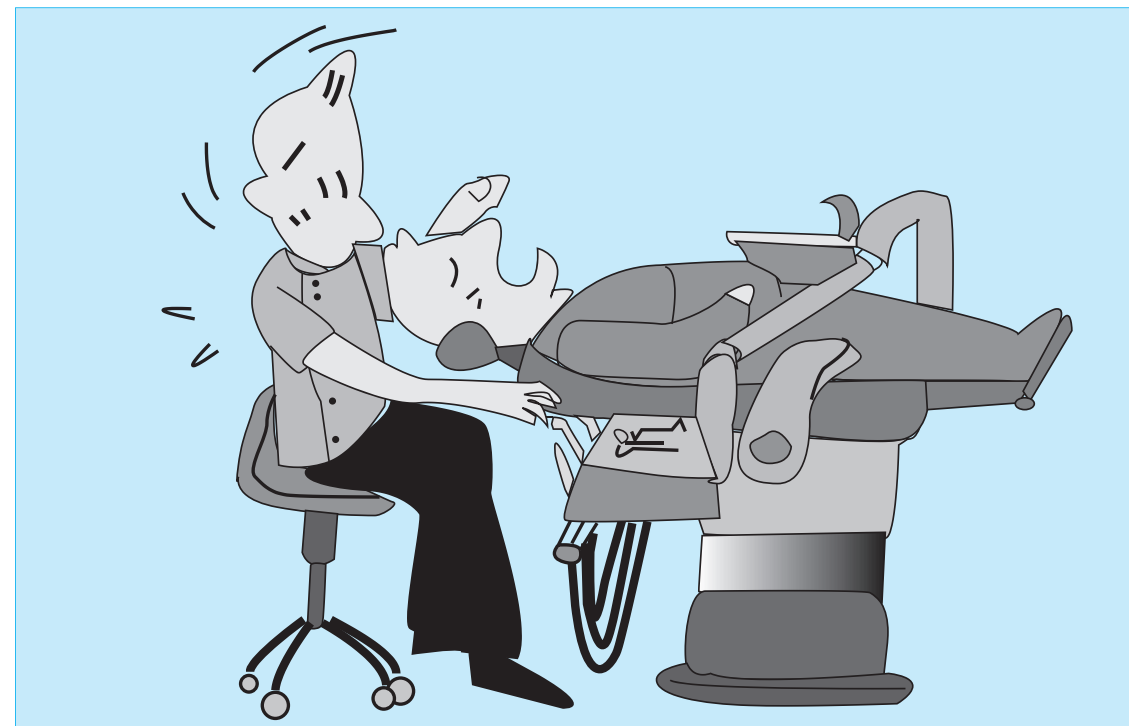
それでは安全なインスツルメント、あるいは、そのインスツルメントの配置とはどんなところに注目すればよいのかみてみましょう。

このチェックは目を閉じた状態で行います。目を閉じることによって、平衡感覚や筋肉の感覚、触覚が鋭敏に働いて、正確に評価することができます。

人間にとって目からの情報は大変多くを占め、目を開けた状態では視覚による影響が大きくてときに他の感覚を妨げることになります。



診療に使うミラーやエキスプローラーなどハンドインスツルメントは多種類になります。術者の右手はこれらのハンドインスツルメントを順不同にすばやく取上げ、患



者口腔にもってこなければなりません。

こんなときバーをつけたまま放置したハンドピースの先端にうっかり手指が触れ、傷付けることが起こります。

ではインスツルメントをどのように配置すれば、この危険を避けることができるのでしょうか。

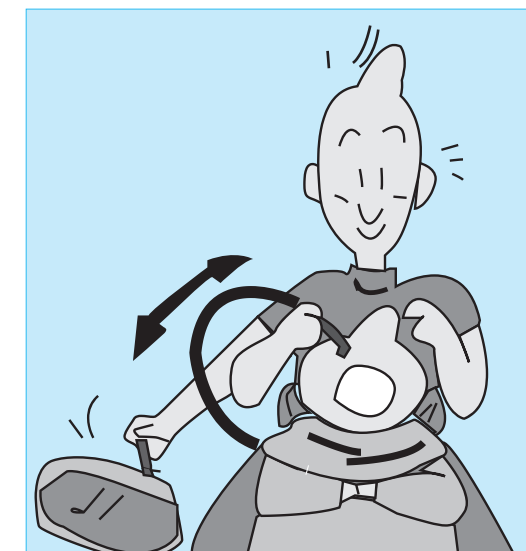
このテストはまず、患者口腔の方を向いてオペレーティングツールに腰を下ろし、目を閉じてグリップしたハンドピースを口腔から置き場所に持って行く動作を行います。

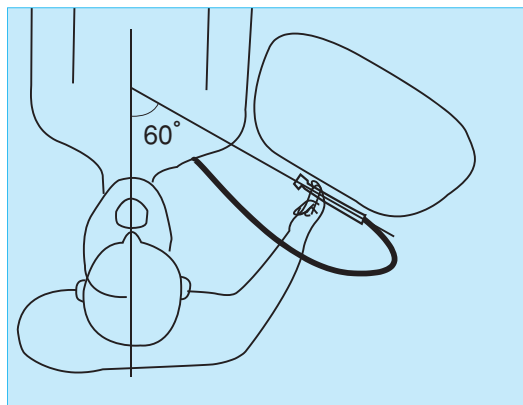
患者口腔の左側、右側、前方とあらゆる方向を試して下さい。右利きの術者はほとんどが患者口腔の右側が自然であると感じられるでしょう。

次に高さですが、患者口腔より上、下どちらが自然な範囲になるでしょう。

上は不自然であることはすぐ感じられる

でしょう。患者口腔から下方、ほぼ肘の高さまでの範囲が自然であると感じられるでしょう。ですから、右利きの術者がごく自然にハンドピースを取上げたり置き戻すことができるエリアとしては、患者口腔の右側で患者口腔から術者の肘の高さまでの範囲になることがわかります。



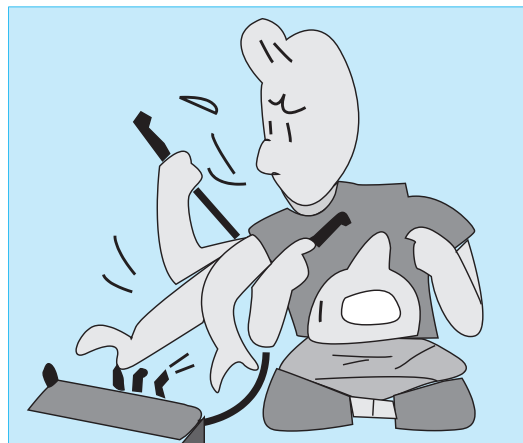


次に、これが安全性の面で最も大切なところで、一般には見逃されがちな点ですが、インスツルメントが置かれた方向です。先ほどの目を閉じたテストでハンドピースを患者口腔から静かに置き場所までもってきます。このときの手の形はどうなっていますか、ハンドピースヘッドはどちらを向いていますか、確認して下さい。術者の正中面に対してどんな角度になっていますか。ハンドピースの長軸は約60度の角度になっていませんか。

このときのハンドピースヘッドはどちらを向いているでしょう。自分の体の方でなく左前方を指していると思います。もし、自分の体の方を向いていたら取上げるときも置き戻すときも、手首をひねるか肘を不自然に上げなければなりません。

このような不自然な動きは再現性に乏しく、ハンガー（ホルダー）をみながらでないと隣のハンドピースに手をぶつけかねません。急いでいるときは特に危険です。また、ハンドピースヘッドが上を向いた状態で保持され、インスツルメントトレイの面よりもヘッドが上に出ていれば、トレイ上の器材を取るときにハンドピースに手指が触れる心配があります。そうでなくても、

いちいち見ながら注意深く手を動かさなければなりません。いずれにしても、このような配慮にかけているユニットは安全性の面からも好ましいとは言えないでしょう。



このように、安全性をテストするには目を閉じてパントマイムの動きをしてみることが確実な方法です。視覚に頼ったり、とらわれ過ぎては重要なことを見落とすことになりまますから、気をつけてください。

人に優しい診療環境を探すために、平衡感覚や筋肉感覚を上手に使うって、ご自分で安全性を確認いただける診療環境設定のコースが定期的開催されています。詳しい情報をご自分のものにされるためにも、このコースに参加されることをお勧めします。

※「ハイスキルのためのSAT V0,1,2,3コース」
主催：世界pdヘルスケアソーサエティー
吹田市江坂町1丁目23-28 江坂南口ビル4F
TEL.(06) 6330-3033

※「21世紀対応の診療と環境」

※「パワーアップセミナー」

主催：(株)モリタ
東京都台東区上野2丁目11-15
TEL.(03) 3836-6161
吹田市垂水町3丁目33-18
TEL.(06) 6380-2525